

1979 (毎月1回発行)

5月号

(村の面積)
332.60km²

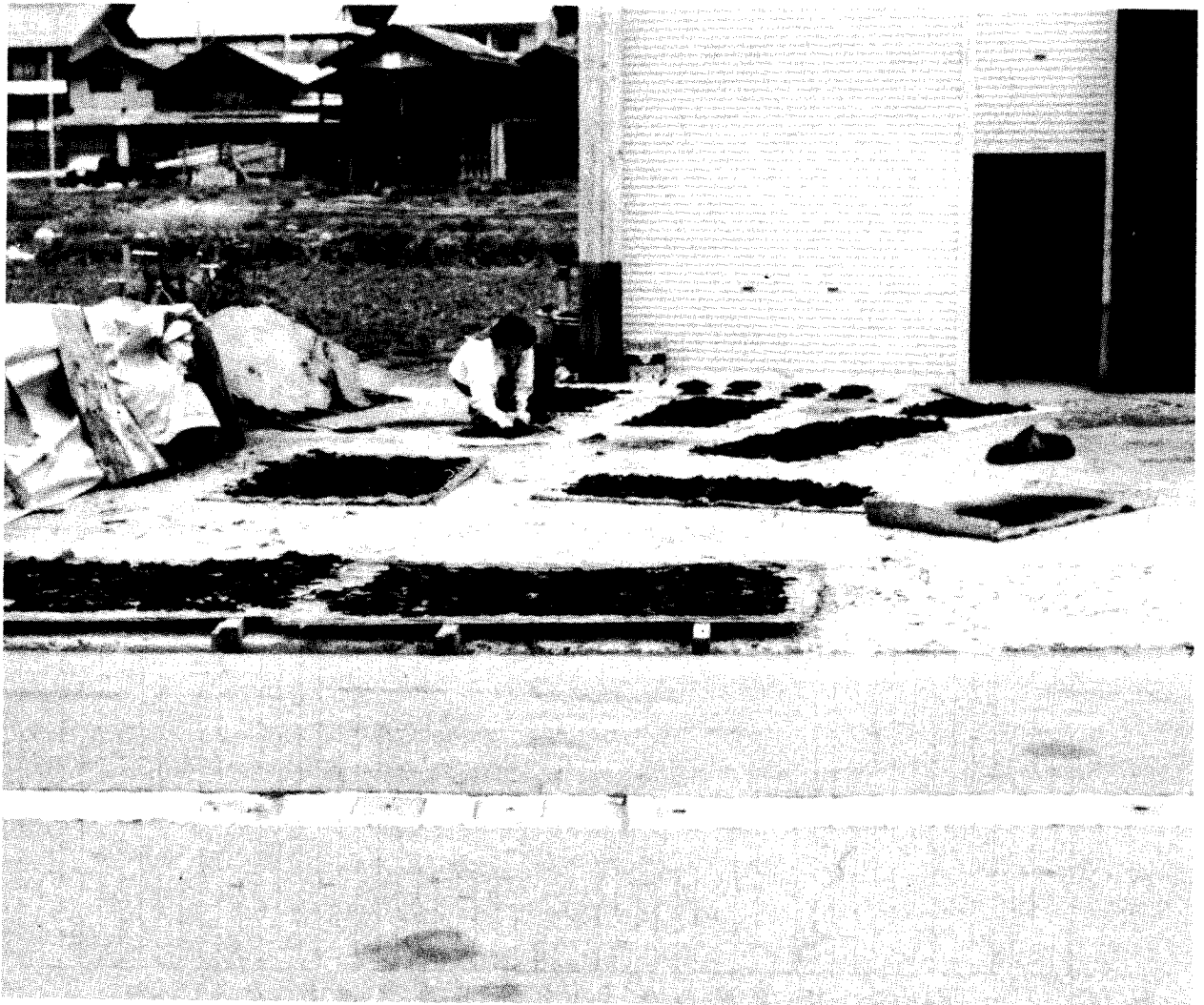
発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和54年4月1日現在)

村の人口	
総人口	1,740人
男	893人
女	847人
出生	0人
死亡	1人
転入	19人
転出	50人
世帯数	522世帯

山菜の収穫



山菜取りなどで山へ行かれる方は、タバコの投げ捨て、たき火のあと始末には充分注意をして下さい。
山の緑を火災から守り自然を大切にしましょう。

財政事情の公表

和泉村財政事情

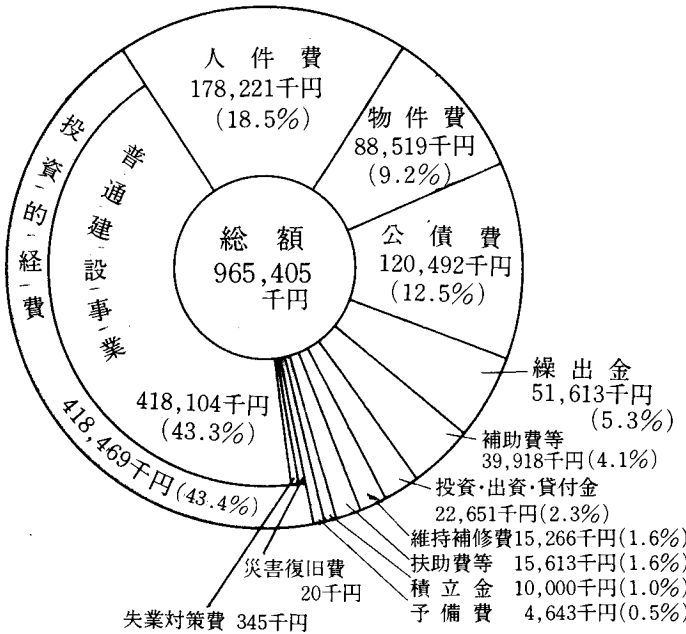
和泉村財政事情の作成及び公表に関する条例の定めるところにより、村の財政事情を公表します。

今回は昭和五十四年度予算と昭和五十三年度下半期の財政運営の状況について、そのあらましを説明します。

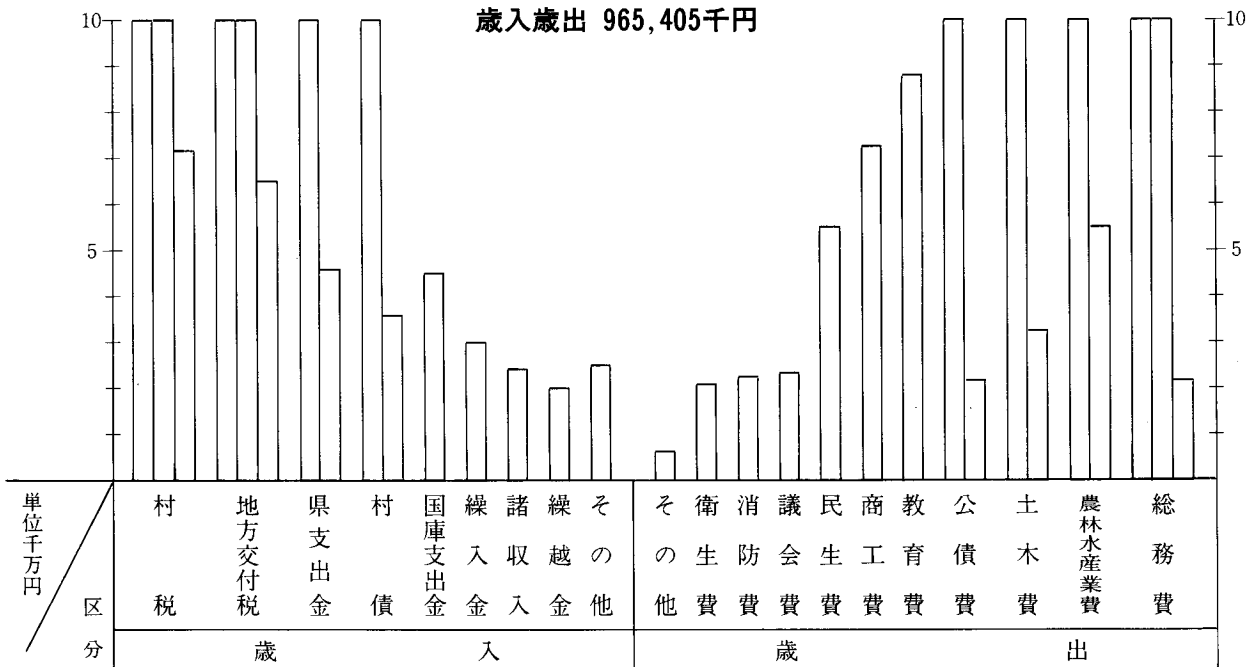
この財政事情は村民の皆様へ村財政の現況をお知らせし、その実態と村政の動きを十分に認識いただくものであります。今後とも村勢発展のため一層のご協力をお願いします。

和泉村長 加藤良雄

性質別歳出予算の内訳



昭和54年度一般会計予算 歳入歳出 965,405千円



一般会計予算のあらまし

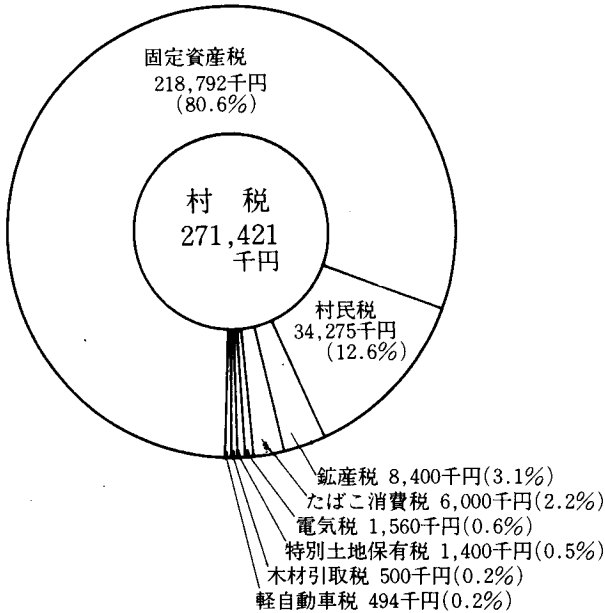
昭和五十四年度一般会計予算の総額は九億六千五百四十四万五千円で、前年度に比較して一億八千四百四十八万八千円の減額となっております。

予算の内訳については、別表のとおりであります。和泉村総合計画を基調とし、各地区から要望のありました事業を優先的にとり上げ、計画的な社会資本の整備ときめ細かな福祉行政の充実を図りました。

本年度の最大の事業は最終年度を迎えた特定山村振興対策パイロット事業で、九千八百八十五万八千円をかけて、薬草加工施設、フィールドアスレチックを整備するものであります。

本年度より開始の第二次林業構造改善事業六千三百四十四千円を含んで農林業の振興対策には一億三千百三十四万三千円、テニスコート造成ほか観光開発対策として三千八百六十三万円、道路、橋りょう、河川の整備として一億一千六百一十一万円が見込まれております。

村税の状況



昭和54年度一般会計予算

〈歳入〉 (単位 千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
(1)村税	271,421	241,818	29,603
(2)地方譲与税	5,500	4,500	1,000
(3)自動車取得税交付金	5,500	4,500	1,000
(4)地方交付税	265,000	250,000	15,000
(5)交通安全対策特別交付金	10	10	0
(6)分担金及び負担金	988	17,905	△ 16,917
(7)使用料及び手数料	1,962	2,243	△ 281
(8)国庫支出金	45,838	66,024	△ 20,186
(9)県支出金	146,293	188,421	△ 42,128
(10)財産収入	10,818	15,948	△ 5,130
(11)寄付金	10	10	0
(12)繰入金	30,000	20,000	10,000
(13)繰越金	20,000	20,000	0
(14)諸収入	24,465	74,014	△ 49,549
(15)村債	137,600	244,500	△ 106,900
計	965,405	1,149,893	△ 184,488

村民の税負担の状況

〈歳出〉

(単位 千円)

1世帯当り 522世帯	税目	1人当り 1,740人
65,661	村民税	19,698
419,142	固定資産税	125,743
946	軽自動車税	284
11,494	たばこ消費税	3,448
2,989	電気税	897
16,092	鉦山税	4,828
958	木材取引税	287
2,682	特別土地保有税	805
519,964	計	155,990

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	本年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	起債	その他	
(1)議会費	22,697	18,409	4,288				22,697
(2)総務費	272,530	205,055	67,475	47,173	32,000	1,290	192,067
(3)民生費	53,023	49,760	3,263	18,034		1,172	33,817
(4)衛生費	20,022	124,467	△ 104,445	1,218			18,804
(5)労働費	416	385	31				416
(6)農林水産業費	155,229	217,126	△ 61,897	75,643	19,600	10	59,976
(7)商工費	72,520	102,500	△ 29,980	17,643	9,400	20,431	25,046
(8)土木費	132,185	163,986	△ 31,801	30,000	76,600		25,585
(9)消防費	22,040	14,168	7,872				22,040
(10)教育費	89,493	98,249	8,756	2,400		622	86,471
(11)災害復旧費	20	43,684	△ 43,664	10			10
(12)公債費	120,577	103,567	17,010				120,577
(13)諸支出金	10	10	0				10
(14)予備費	4,643	8,527	△ 3,884				4,643
計	965,405	1,149,893	△ 184,488	192,121	137,600	23,525	612,159

主な事業の内訳 (昭和54年度)

(単位 千円)

Table with 8 columns: 区分, 事業名, 事業費, 国県支出金, 起債, その他, 一般財源, 備考. Rows include 補助事業 (農林水産業費, 土教, 衛生費), 単独事業 (総務費, 衛生費, 農林水産業費, 商工費, 土木費, 消防費), その他 (総務費), and 特別会計 (簡易水道).

特別会計予算について

特別会計予算については別表のとおりであります。簡易水道事業ほか四特別会計で総額一億四千三百八十三万六千円となっております。前年度に對して三千八百八十八万六千円の増額となっております。また、各会計ごとにみますとそれぞれ前年度よりも増加してあり、簡易水道事業会計で後野地区の水道施設改良工事費、国民健康保険事業会計で療養給付費などがそれぞれ大巾に増額となっております。

昭和五十三年度下半期の財政運営について

昭和五十三年度下半期の財政運営については別紙のとおりであります。三月末における予算額は十二億五千九百六十六万七千円であり、当初予算と比較すると一億九百七十七万四千円の増額、九・五%の増となっております。支出については、予算計上

昭和54年度特別会計予算状況 (単位千円)

Table with 4 columns: 会計名, 54年度, 53年度, 比較. Rows include 簡易水道事業, 国民健康保険事業, 診療所事業, 農業共済事業, スキー場事業, 計.

した事業は全部完成の見込みであります。また、収入についても歳入として見込んだ財源はほとんど確保され、国、県支出金、起債等も五月末までに収入となり、黒字決算となる見込みであります。

なお、三月末において歳入の収入済額と歳出の支出済額の差の不足額二億一千百一十一万三千円は一時借入金をして経理しております。

今年保育所・幼稚園へ 入られる方は次のとおりです

◎朝日保育所

児童名 性別 地区名 保護者

田中みずほ 女 朝日 輝夫

須甲明日香 女 貝皿 一治

林 加奈子 女 下山 久雄

鈴木 昌彦 男 上大納 正男

東 毅 男 上大納 治義

田辺 利博 男 上大納 澄雄

池田 哲也 男 上大納 義則

長崎みち代 女 上大納 吉久

宮前美津留 女 上大納 見佐夫

原 由美子 女 上大納 健次

山田麻里子 女 上大納 毅

尾崎 明人 男 朝日 幹夫

原田 篤子 女 朝日 明正

明石由香利 女 朝日 やま子

西村 直子 女 朝日 満朗

古川 恵理 女 朝日 清澄

迫 ゆかり 女 朝日 幸夫

新井重矢子 女 川合 基衛

林 加織 女 下山 久雄

驚見 隆幸 男 朝日 信雄

桜川 辰徳 男 朝日 豊明

今市 恵里 女 朝日 恵造

富田 亜美 女 朝日 八好

富田 由美 女 朝日 八好

鶴飼明日香 女 朝日 昭市

西村 靖子 女 朝日 満朗

田中みずほ 女 朝日 輝夫
須甲明日香 女 貝皿 一治
林 加奈子 女 下山 久雄
鈴木 昌彦 男 上大納 正男
東 毅 男 上大納 治義
田辺 利博 男 上大納 澄雄
池田 哲也 男 上大納 義則
長崎みち代 女 上大納 吉久
宮前美津留 女 上大納 見佐夫

◎大納幼稚園(九名)
吉村 俊之 男 上大納 友亮
沢 加津也 男 上大納 清一
田村 敦 男 上大納 正太郎
尾崎 一也 男 上大納 一雄
坂井 隆博 男 上大納 省三
菊辻 麻紀 女 上大納 伊佐男
田辺 清美 女 上大納 澄雄
山田麻里子 女 上大納 毅
原 由美子 女 上大納 健次

◎中電保育所(十名)
鈴木 昌彦 男 上大納 正男
東 毅 男 上大納 治義
田辺 利博 男 上大納 澄雄
池田 哲也 男 上大納 義則
長崎みち代 女 上大納 吉久
宮前美津留 女 上大納 見佐夫

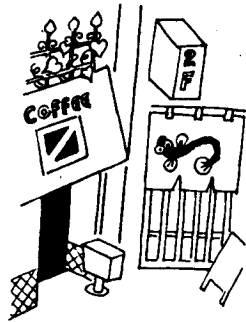
商業統計調査に ご協力を

六月一日全国一斉に実施

この調査は「商業の国勢調査」といわれるもので、わが国の商店の分布状況や販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするため、全国の卸売業・小売業および飲食店を営んでいるすべての商店を対象に行います。三年ごとに調査を行います。今回は十四回目です。

この調査は「商業の国勢調査」といわれるもので、わが国の商店の分布状況や販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするため、全国の卸売業・小売業および飲食店を営んでいるすべての商店を対象に行います。三年ごとに調査を行います。今回は十四回目です。

この調査の結果は、国や都道府県、市町村での商業、企業の育成、流通機構の近代化



昭和53年度一般会計予算の状況 (54年3月末現在)

《歳入》

区分	当初予算	補正額	現計予算	収入済額	支出率
(1)村 税	241,818	10,205	252,023	249,002	98.8
(2)地方譲与税	4,500	900	5,400	3,180	58.9
(3)自動車取得税交付金	4,500	1,000	5,500	6,108	111.1
(4)地方交付税	250,000	67,548	317,548	349,242	109.9
(5)交通安全対策特別交付金	10	-	10	355	355.0
(6)分担金及び負担金	17,905	△ 1,362	16,543	814	4.9
(7)使用料及び手数料	2,243	△ 120	2,123	1,898	89.4
(8)国庫支出金	66,024	1,800	67,824	22,644	33.4
(9)県支出金	188,421	5,284	193,705	140,741	72.7
(10)財産収入	15,948	△ 6,600	9,348	8,236	88.1
(11)寄付金	10	-	10	-	-
(12)繰入金	20,000	19,600	39,600	-	-
(13)繰越金	20,000	21,882	41,882	41,882	100.0
(14)諸収入	74,014	3,337	77,351	6,636	8.6
(15)村債	244,500	△13,700	230,800	10,000	4.3
計	1,149,893	109,774	1,259,667	840,738	66.7

《歳出》

(単位 千円)

区分	当初予算	補正額	現計予算	支出済額	支出率
(1)議会費	18,409	4,296	22,705	22,136	97.5
(2)総務費	205,055	44,867	249,922	225,385	90.2
(3)民生費	49,760	2,739	52,499	48,731	92.8
(4)衛生費	124,467	△ 3,046	121,421	53,565	44.1
(5)労働費	385	-	385	9	2.3
(6)農林水産業費	217,126	1,693	218,819	184,565	84.3
(7)商工費	102,500	27,290	129,790	115,653	89.1
(8)土木費	163,986	10,130	174,116	125,558	72.1
(9)消防費	14,168	-	14,168	14,032	99.0
(10)教育費	98,249	10,144	108,393	100,381	92.6
(11)災害復旧費	43,684	△ 3,617	40,067	40,051	99.9
(12)公債費	103,567	4,100	107,667	106,715	99.1
(13)諸支出金	10	15,060	15,070	15,070	100.0
(14)予備費	8,527	△ 3,882	4,645	-	-
計	1,149,893	109,774	1,259,667	1,051,851	83.5

五十四年度 春季消防訓練を実施

和泉消防団

和泉消防団では、去る四月二十二日午前九時から村民グラウンドにおいて昭和五十四年度春季消防訓練を開催しました。

この日は好天に恵まれ、来賓多数を迎え昨年県操法大会に出場した第一分団の模範操法を始め、防衛訓練、分列行進、表彰式等が行われた。

なお、表彰受賞者は次のとおりです。

村長無火災表彰

第二分団(下山)

村長表彰

第一分団 団員 藤田新市

第二分団 団員 新井基衛

第三分団 団員 谷 秀明

第四分団 班長 林 藤市

班長 曾根雄次

団員 菅野庄次郎

川中 栄

村長感謝状

平山組

団長功労章

第一分団 班長 洞口一夫

団員 山本一郎

第一分団 団員 宮下隆
第三分団 団員 番屋友吉
第四分団 団員 荒木信彦

第一分団 団員 金子清繁

第二分団 団員 坂下祐助

第三分団 団員 松林竹夫

第四分団 部長 中内智利

班長 古川 渉

第一分団 団員 新井一藤

第二分団 団員 水谷光一

第三分団 団員 中山継男

第四分団 団員 新屋隆典

五十四年度 県消防大会を実施

去る五月七日、福井県消防大会が実施され、消防殉職者の慰霊祭が護国神社で営まれつづいて県民会館で功労者表彰式が挙行された。

なお、和泉消防団関係の受賞者は次のとおりです。

知事功労章

副団長 山岸金次

知事永年勤続精績章(二十年)

第二分団 団員 谷 幸男

第四分団 部長 宮腰輝男

班長 宮本 忠

知事一号銀杯(三十年)

第一分団 部長 中内智利

国民年金 無年金者に特例納付

一時の思い違いや、経済上の都合などで、国民年金に当然加入するはずなのに、今まで加入しなかった人に、最後の加入のチャンスが与えられています。

この人たちは、去年の七月一日から、来年の六月三十日まで二年間に加入の手続きを済まし、滞納していた保険料を納めることができます。

協会功労章

第二分団 分団長 松山正一

協会表彰章

第三分団 団員 番屋喜代志

第四分団 班長 宮本 忠

協会永年勤続精績章

(二十五年)

第三分団 副分団長 長岡昇一

退団感謝状

第一分団 班長 表 俊一

第二分団 班長 佐藤博成

第三分団 班長 坪 光雄

第四分団 副分団長 西 忠尾

第一分団 副分団長 伊丸岡三郎

料を納めることができます。滞納保険料額は、一か月につき四、〇〇〇円の割で納めてください。それでも、資格期間を満たせない人は、引き続き保険料を納めていくと、老齢年金の受給資格が認められます。

この申出のできる人は、明治四十四年四月二日以降の生まれで、国民年金へ当然加入するはずの人です。任意加入の人には適用されません。

くわしく知りたい人は、今すぐ住民課(年金係)にご相談ください。

五月一日付 役場職員一部異動

五月一日付で職員の一部に次のとおり異動がありました

◎総務課長(中支所長兼務) 島田 等(税務課長)

◎税務課長 吉岡和男(総務課長心得)

◎住民課保健衛生係長 中村邦典(福祉係長)

◎住民課福祉係長 野尻 広(保健衛生係長)

◎建設課庶務係長 島田好子(建設課主事)

◎産業観光課勤務 中村恵子(総務課勤務)

◎朝日保育所勤務 吹屋さとゑ(給食センター勤務)

資源とエネルギーを大切にしよう

- 一、不用な電灯は消すよう心がけよう
- 二、冷暖房は適正な温度にしよう
- 三、不要・不急のマイカー利用は自粛しよう

人のうごき

▼死 亡
朝日前坂 原 勇松 七〇才

